

2 美術博物館

事業名	画業50年記念山川忠義展	院展	高校美術展	美術三選展
実施期日	昭和50年6月28日～7月6日	10月15日～10月27日	9月24日～9月28日	11月23日～12月7日
目的	美術博物館収蔵作品の骨幹を形成する主要作家の一人、山川忠義の画業を県民に広く紹介する。	院展は日本画壇の中でも最もすぐれた展覧会といわれているが、この展覧会の福島巡回展を過去4回続けて実施、今年も中心行事として計画した。	49年に第1回展を開催、参加校48校、出品点数380点余となり好評であった。今年も引き続き本県美術界の底辺の拡大をめざし、計画した。	県出身彫塑界の第一人者の太田良平、洋画界の重鎮吉井忠併せて竹久夢二の素描を展示し、芸術性の高い作品群鑑賞の場を提供する。
対象	一般	一般	高校生及び一般	一般
内容	山川忠義氏自選の作品130点を展覧。 画業50年のあゆみをこれらの作品群によって理解。 日展、一水会展などの出品画入賞作品及びスケッチ風小品など。	再興60回記念展の作品の中から同人作品、受賞作品、本県出身者入選作品など大作67点を展示。	県内の高校生の作品（学校推薦を受けたもの） 出品校48校 出品作品数422点 (内訳) { 洋画 367点 デザイン 35点 彫塑 20点	太田良平自選作品 31点 吉井忠自選作品 70点 竹久夢二滯欧素描作品 144点
出品者	山川忠義氏ほか	日本美術院同人ほか	県内高校生徒	太田良平氏、吉井忠氏他
共催・後援等	県教委、文化センター	県、県教委、文化センター 日本美術院	県教委、文化センター 県高教研美工部会	県教委、文化センター (後援) 愛宕山画廊
入場人員	4,000人	5,200人	1,310人	2,200人

3 歴史資料館

事業名	歴史資料館常設展	開館5周年記念 福島の仏像展	福島の考古資料展	福島市史完成記念 福島市史編さん資料展	古文書研究講習会	古文書研究講習会
実施期日	4月1日～5月31日 6月18日～8月31日	10月4日～10月31日	11月20日～12月25日	2月3日～3月31日	7月31日～8月1日	3月9日～3月10日
開催場所	文化センター歴史資料館	文化センター歴史資料館	文化センター歴史資料館	文化センター歴史資料館	喜多方市立図書館	文化センター歴史資料館
内容	歴史資料館に収蔵されている考古資料(縄文・弥生・七師・順恵などの土器及び倍宿、鷹浜などから出土した古瓦)歴史資料(江戸時代の絵図、絵馬、古文書)などを展示	善光寺式三尊仏、仏師乗田の作とされている仏像を一堂に展示した。また併せて記念講演「福島県の善光寺式三尊仏について」を早稲田大学教授加藤謙先生によって行われた。	福島市教育委員会、県考古学会との共催で、福島市を中心とした信達地方の遺跡から出土した石器土器、土偶、古瓦などを遺跡別に写真パネルと図解した資料とあわせて展示した。	県都福島市が市制60周年記念事業として去る昭和42年から福島市史の編さんを開始し今年度で全13巻を刊行して完了する。これを記念して福島市史編さんのあゆみと、市史に収録された貴重な資料のうち代表的なものを展示した。	地方史研究の基礎となる古文書の研究講習会 近世資料の取り扱い方 庄司吉之助 市町村における歴史資料の収集と保存 誉田 宏 「小沼組の研究」 塩川町 中地 茂男	証書類の解読と分析 庄司吉之助 福島市史編さんをかえりみて 大村 三良 中世から近世初期の伊達郡の郷村について 菊池 利雄 異国船にたいするいわきの各藩 小野 佳香 県内地方史研究の動向 誉田 宏
共催・後援等				福島市教委		県史学会、喜多方市教委
入場・参加人員	3,200人	4,800人	1,600人	1,500人	120人	145人